



きたはなプロジェクト

きたはなプロジェクト ～地域協働による自生種を 活かした緑化活動の取り組み～

助成区分	植栽	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙		
実施状況	現地活動状況 (緑化活動イベント)	6回	緑化実績 (海浜性植物6種)	1,634株	活動の全体目標に 対する達成度	65%

課題

本年度は活動の第2次事業計画(3箇年)の2年目で、導入対象種の発芽手法や育苗システムの確立を進めています。
【活動拡大の要望高まり】活動の根幹を担う苗の量産体制をさらに充実。より多くの導入種について、より簡便に発芽率・得苗率を向上させる手法開発、苗の里親制度(一般の方々に移植苗を1年間自宅等で育ててもらう制度)の充実。
【試験開発や育苗・移植作業等に伴う資器材の調達】平成30年4月以降に関しては助成予定もなく、予算の逼迫が予想。

活動内容

- ・本プロジェクトは、東オホーツクを代表する「小清水原生花園」を拠点とした連続的な地域景観の形成を目的とし、隣接する一般国道244号網走市北浜地区の道路法面を対象に、原生花園自生種を用いた緑化を地域協働で行っています。
- ・活動を通じて自然環境保全と自然景観創出の双方に貢献しつつ、地域の自然環境を学ぶことも可能となります。
- ・地元小学校の観察会に端を発し、中学、高校、大学でも参画が可能な活動方法の構築を目指し、地域の教育機関が一貫して環境学習のフィールドとして活用することで、継続的に保全活動を見守る素地の醸成が期待できます。
- ・学・民・官の協働・連携の継続により、地域の誇り・愛着心向上に加え、地域外への発信・認知度向上も期待できます。
- ・大学が担当する発芽・育苗法に関する研究は、関連学会で結果を逐次発表することにより、地域自然資源の保全に関する貴重な知見として広く社会へ還元できると考えます。【平成24年度～平成29年度、日本造園学会で発表】

成果

- ①平成29年 6月23日 ヨモギの抜き取り試験 ■北浜法面の移植箇所を中心に、ヨモギの抜き取り実施
- ②平成29年 6月29日 白鳥台小学校総合学習 ■濤沸資料館の小森一成会長を講師に招いて植物の観察を実施
- ③平成29年10月 1日 日本造園学会北海道支部大会でポスター発表 ■奨励賞を受賞
- ④平成29年10月 7日 種採り会 ■北浜法面にてアヤメ等5種の種子、合計約1,203,560粒の種採りを実施
- ⑤平成29年10月27日 種まき・移植会 ■北浜圃場及び北浜法面にて、アヤメ等4種の合計約119,972粒の種まきを実施
■北浜法面にて、アヤメ等6種の合計1634株の移植を実施
- ⑥平成29年10月28日 白鳥台小学校種まき・移植会 ■北浜法面にて、児童の育てたエゾスカシユリポット苗48株を移植
■北浜圃場にて、アヤメ等4種の合計約59,586粒の種まきを実施

工夫した点

- ・当プロジェクトでは、地域固有の自生種(海浜性植物)による道路法面の緑化活動を中心に据えながら、その企画・運営から維持管理の課題把握および持続可能な法面管理のあり方の検討までを活動対象としています。
- ・活動の基本は、周辺地域の自生種の種子を採取し、効率的かつ効果的な発芽・育苗方法を研究開発することで、常に最適な手法へと更新しつつ発芽・育苗・法面移植を行い、地域固有の植生要素を反映した法面緑化を目指しています。
- ・各参加団体は、個々の立場や得意分野を活かすことで、主体的となる活動をそれぞれ分担しています。
 地元NPOや活動団体等(民):緑化現場活動、大学(学):緑化手法の研究開発、道路管理者(官):活動場所の提供

今後の課題

- 看板やポスターの掲示場所⇒活動の普及・啓発を目的とした、市役所等公共施設への広報資料掲示のための協議。
- 法面の美化活動⇒ヨモギの抜き取り試験により、開花個体が目立つようになった。花が目立つスポットで6月中～下旬の開花期間にイベントとしての開催確認、併せてゴミ拾いについて、今後もイベント毎に実施することに関して協議。
- エゾキスゲの採取・播種・育苗試験⇒要望のあったエゾキスゲの採取について、オホーツク振興局と協議し、道路敷地内の一部から種子採取が実現、新規導入種のため東京農業大学の協力により発芽試験を実施、育苗手法等を検討。
- エゾスカシユリのポット育苗の里親制度:播種より鱗片からポット苗での育苗が効率的であると確認、里親制度による地域の方々に育苗管理を協力依頼。※地元小学校では48ポット(H27作成苗)を育苗して頂きました。
- 2ndステージの取り組み⇒導入種はエゾスカシユリを中心に、アヤメ・エゾカワラナデシコ・ノコギリソウを移植、今後のモニタリングについて、今年から移植方法が大きく変化したため、モニタリング方法も見直しが必要で調査手法を検討。